

事務事業名 埋蔵文化財発掘調査事業		所属部 教育委員会	所属課 文化財課	
総合計画体系	政策名 (IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>	所属G 文化財・文化振興G	課長名 山崎 修	
	施策名 (32)地域文化の振興	担当者名 高橋 誠二	電話番号 0854-40-1104 (内線)	
	目的: 対 象 市民 意 図 文化芸術を普及・振興し、地域文化(地域の伝統文化・歴史遺産)を次世代に伝える。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 5 0 0 2 項 目 中事業 中事業 2 5 4 0 0 1	埋蔵文化財発掘調査事業	
	基本事業名 (096)地域文化の保存継承		埋蔵文化財発掘調査事業	
目的: 対 象 市民 意 図 地域文化を次世代に伝える。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・文化財保護法に基づき、開発予定地等の埋蔵文化財の有無確認及び発掘調査を実施し、埋蔵文化財の保護保存を図る。 ・調査の必要に応じて分布調査、確認調査(試掘調査)、発掘調査を行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・(仮称)神原企業団地の報告書作成 ・前原・十日市線の発掘調査 ・埋蔵文化財分布調査	29年度計画(29年度に計画する主な活動) ・(仮称)神原企業団地スマートIC等の試掘調査 ・池尻遺跡の報告書作成 ・大吉田ほ場整備工事に伴う上津屋遺跡の発掘調査 ・市道前原・十日市線拡張工事に伴う発掘調査 ・市道新市・里方線拡張工事に伴う発掘調査 ・埋蔵文化財分布調査				
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 発掘調査面積	m ²	2,430	130	1,000	31,000
	イ 発掘調査報告書	件	0	0	0	2
	ウ 遺物実測点数	件	0	0	10	100
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	埋蔵文化財	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
			ア 発掘調査の実施件数	件	3	2	1	3
			イ 分布・確認調査の実施件数	件	13	15	18	20
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	開発予定地内における遺跡の性格を明らかにし、記録保存か、現状保存かを見極める。	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
			ア 発掘調査の実施件数	件	3	2	1	3
			イ 分布・確認調査の実施件数	件	13	15	18	20
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
賃金: 4,441千円 需用費: 548千円 委託料: 1,897千円 使用料及び賃借料: 1,426千円	財源内訳	国庫支出金	千円	902		
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			14,800
		一般財源	千円	14,113	7,584	8,312
		事業費計(A)	千円	15,015	7,584	8,312
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2
		延べ業務時間	時間	1,321	786	830
		人件費計(B)	千円	5,136	3,076	3,293
		トータルコスト(A)+(B)	千円	20,151	10,660	11,605

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・開発に伴う発掘調査の依頼件数が増加しているが、それに対応できる体制が組めていないため、発掘調査を数年待ってもらっている状況にある。	特になし	調査依頼者から、発掘調査を「早期に実施してほしい」という要望がある。

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	-------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	現状の職員体制では一般事務と発掘調査の両立が困難である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	文化財保護法に違反する。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	本事業以外に類似事業は存在しない。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	可能な限り事業費の削減に取り組んでいる。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	発掘調査では、発掘調査員が常駐し、適宜指示しなければならないため、事務作業は現場作業後(時間外)に行わざるをえない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	・国民共有の財産の保護・保存のためのものである。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	・試掘調査は市の予算、発掘調査費は事業者負担であることから、費用負担に関する公平性は保たれている。		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
<p>「(仮称)神原企業団地の報告書作成業務」及び「前原・十日市線拡張工事に伴う発掘調査」、「大吉田地区ほ場整備予定地内の試掘調査」、「菅谷たたら山内での学術調査」を実施した。</p>				

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
<p>・今年度は、「市道前原・十日市線の拡張工事に伴う発掘調査」と「大吉田地区ほ場整備事業に伴う発掘調査」、「(仮称)神原企業団地スマートIC及び市道予定内の試掘調査」、「市道新市・里方線拡張工事に伴う発掘調査」、「池尻遺跡発掘調査報告書作成」をおこなう。</p> <p>・近隣自治体の発掘調査員と「発掘調査の進め方」について積極的に情報交換し、「コスト削減」及び「作業期間の短縮」につながる方法を取り入れていく。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		